

問 上沼地区での風力発電事業について、市長の「中立」は、環境保全責任まで中立とするものでない
と考えるが、認識を伺う。

答 市の立場と環境保全への責務は別問題であり適切に意見を述べる責務を果たしていく。



市の旧花輪鉱山跡地への大型風車建設の危険性の認識について

問 市は地盤の安全性をどう評価し、事業者

に確認を行ったか、また旧鉱山由来の重金属が、工事や建設後の地盤変動により流出しない明確な根拠、流出した際の対応策について追加で求めるべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 土砂崩れへの懸念に対し事業者からは「ボーリング調査等により地質や地盤強度を把握したうえで、適切に対応する方針である」と見解が示された。重金属類の流出についても国の勧告に従い、適切に調査、予測及び評価を行う等、事業者が必要な対策を含め、検討を進めていると認識している。

上沼地区での風力発電事業環境影響評価方法書に対し提出した市長意見の反映状況について

問 市は「丁寧かつ十分な説明」「誠実な対応」を求めているが事業者の説明が水準未満の場合どう改善を求めるか。

答 意見は県から国へ提出後、事業者に出されるため、市は事業者と直接的な協議や環境影響評価以外の事業計画に対する意見を述べる権限を有していない。

質問した項目

- 上沼地区での風力発電事業環境影響評価方法書に対し提出した市長意見の反映状況について
- 地域住民への事業説明による住民理解の確保について



録画配信はこちらから

丸岡 孝文 議員 (無会派)
質問時間 30分

質問した項目

- 子供の「幸福」日本1位について
- 通学時の安全確保について
- 幼児保育・教育施設運営について



通学時の安全確保について

問 学校統合や熊対策を要因として保護者による車での送迎が増え、大雪に見舞われた昨年度、徒歩通学に

対しても道幅減少により多くの危険箇所が発生した。除雪オペレーターの確保等早急に対応すべきではないか。

答 記録的な大雪により作業が追い付かず道幅の確保が十分出ない状況が続いた。オペレーター不足には、新規事業者の募集や自治会等による担

問 大雪により、危険度が増した倒木や建物崩壊への危険除去の現状と対応は。

答 状況把握に努め、危険箇所が見つかった場合には関係機関と連携し、早急な対応を行うようにしている。

手確保に努めるほか路線の見直し等をし、万全な体制に向け早期から準備を進める。

幼児保育・教育施設運営について

問 保育園・こども園等での鳥獣に対する安全確保は100%

大人が対応するしかない。現状の取り組みと今後の計画は。

答 各保育園等が熊対策マニュアルに基づき適切な対応をしている。また避難訓練の定期実施や専門講師の講習等、危機管理意識の向上と安全対策の強化に努めている。今後

も関係機関と出没情報を共有し安全点検や見守りを強化し安全確保に万全を期す。



録画配信はこちらから

栗山 尚記 議員 (新時代かつの)
質問時間 60分

一般質問 栗山尚記議員(新時代かつの)